



えんだより



2022年12月
吉野幼稚園

主 題：「喜び合う」

聖書のことば：「神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された」(ヨハネ3:16)

早いもので、12月を迎えました。今年も、コロナコロナに振り回された感のある1年でしたが、残り1か月を切りました。保護者の皆様には、何かとお忙しいことと存じます。

幼稚園では、子供たちは12月17日(土)のクリスマス発表会に向けて、毎日練習に励んでいます。Aクラスは「聖劇」をします。「聖劇」とは、イエス・キリストの降誕の様子を劇にしたもので、カトリックの幼稚園ではクリスマス恒例の行事となっています。Bクラス、C・Dクラスも、それぞれの発達段階に応じた劇などを練習しています。子供たちが演じる発表会、とても楽しみです。ぜひ、保護者の皆様にご来園いただき、ご参観いただきますようお願いいたします。

さて、今回は「**環境を整えよう**」というおはなしです。モンテッソーリ教育とは子どもが自分の力で自分を育てる「自己教育力」を信じ、援助することにより、「自立」と「自律」を促す教育です。大人にできる最大の援助、それは親が何でもやってあげるのではなく、子供の成長に合わせて“環境”を整えることなのです。環境さえ調べていれば、子どもは勝手に成長していくのです。この場合の環境は、物的環境もあれば、人的環境もあります。

環境の整え方の一例を紹介しましょう。

①「**目線に注意する**」わが子は腹ばいをするようになったら、親も腹ばいになって、子供の目線で周囲を見渡してみましよう。ハイハイするのに危険なものはないか、誤飲の心配のあるものはないか。あれば、そのようなものを排除して、目標となるようなおもちゃを配置します。次のステップはつかまり立ちから伝い歩きですから、これも同様に親がその高さの目線で確認してください。いろいろなものが見えてくることでしょう。

今年も残り少なくなってまいりましたが、幼稚園の日常の保育活動や行事等への多大なご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

12月のねらい

Aグループ・聖劇を通して、皆で劇を作り上げる達成感を味わいながら心を込めて発表し、クリスマスをお祝いする。

Bグループ・クリスマス発表会で、劇を自分なりに表現することを楽しむ。

CDグループ・クリスマス発表会に意欲的に参加し、発表を楽しむ。

つぼみ・クリスマス行事を楽しみ、興味や関心を持つ。